

発達心理学概論 [特論] 第8講

2. 言語発達・認知発達の研究方法論

2-2. 民族誌的方法論による会話分析

会話行動の性差

～会話は権力の具現装置か？～

内田伸子

uchida.nobuko@ocha.ac.jp

2002年のワールドカップ

仏出身のトルシエ日本代表監督:

「聞いている人があまり理解できず敬意を払ってくれないような下手な日本語だったらしゃべらない方がよい」

(週間朝日 2002年7月26日号)

オランダ出身のヒディンク韓国代表監督:

「韓国は儒教的な人間関係が支配的なので、年齢の上下で敬語を6通りも使い分ける。これでは個人個人がチームでの役割を果たすことが難しい。

そこで私は、まず、選手が会話するときに敬語を使うのをやめさせた。敬語を使わなくなってから、チームでの個々人の能力を発揮することができるようになったと思う。」

(週間朝日 2002年6月18日号)

2006年のワールドカップ

仏のジダンの頭突き事件

イタリア選手がジダンのシャツをつかんだ。

ジダン「そんなにほしけりゃ試合が終わったらくれてやる！」

イタリア選手「お前の姉さんの方がほしいよ！」

ジダン いきなり頭突き。

(イタリア選手はジダンに姉がいることは知らなかったし、他の選手たちも口々に汚い言葉をジダンに投げつけていたという)



ことば遣いは人の行動を規定する

× 国際貢献



○ 国際協力

× 子供



○ 子ども

敬意の「法則」

★相手との距離をとる

相手の名前で呼ぶことを避けてきた

「あなた」→ 彼方

= 自分や相手から遠い距離
遠くに見立てて敬意を表す

(c.f. 貴方・彼方; 親しい人, 目下の人)

様……その方向(人間そのものを指さない)

殿……その人の住んでいる館や邸

殿下……館や邸ですら恐れ多い

御机下……机のその下

御侍史……主君に仕えるふびと・文書官

(相手に直接さしあげるのをはばかり)

会話のリズム

順番取りのルール

(turn taking system)

→話し手と聞き手の番の交替のリズム

◆会話のリズムの基盤:

授乳行動のパターン

吸ったら休むの繰り返し

★哺乳動物約4,700種中 人間のみ特異

生後3日：★番の交替がぎくしゃく

母親は働きかけ乳児の休みを
引き延ばしてしまう

2週間後：★番の交替がスムーズ

- ①母親は働きかけすぐ止める(Kay,1978)
- ②乳児は3秒後の吸い継ぎへ
- ③吸い継ぎ時間は12秒

6週間後：★短いサイクルで番の交替

- ①吸い継ぎ時間は6秒(正高, 1993)



乳児と母親のかけあいはリズムカル
より精妙なタイミングへ



会話の番の交替の基盤？

会話のリズムの逸脱

順番取りのルールが破られる場合

割り込み(interruption)
沈黙(silence)

男性 > 女性

「形式的に、男女が平等に話し合いに参加できたとしても、女性の意見が意思決定に反映されにくい構造になっている。しかもそれに気づくことすらない。」
(江原・山崎・好井, 1984)

これって本当？ 発話権の発動の装置なの？

会話のリズムの文化差

1. 「並行的同時発話」の意味

e.g., ブッシュマンのグイ族（菅原, 1992）
ハワイの原住民（Au, 1987）

2. うなずきのタイミング（Clancy, 1987; 内田, 1999）

タイミング＝頻度, 心理的影響（不快／不安）

→ 対人行動の準拠点；自己／他人

→ 会話構成パターン；

▲米人；自己主張完結型

●日本人；聞き手配慮・調整型

3. 会話状況依存

●文脈の共有度 ●親密度 ●カジュアルな会話

問題

1. 会話表現の性差:

(1) 男女の言語表現の非対称性:

Lakoff(1975): **自信のなさ**

Blaker&Pederson(1980): **地図の説明**

井出(1979;1982): **あいづち(女>男)**

Kuhn(1982): **間接的要求(女>男)**

大坊(1982): **発話時間(男>女)**

Research Question

(2) 性差別の再生産の「権力装置」:

Sacks, Shegloff, & Jefferson (1974)

- 社会的相互行為の過程を会話の順番取りルール・システム (turn taking system) で記述*

* 民族誌的方法論 (ethnomethodology)

「民族誌的方法論」 (ethnomethodology)

- ある社会の構成員の
実践的知識を解明する方法論

→現実の行為＝知識を反映



会話に着目

- ★ 会話はある秩序をもった社会的行為、
日常の縮図。
- ★ 会話の規則性は社会的知識を反映
しているはず。

e.g., 「会話の公準」

c.f., テキストの第III章, pp.89～

(1) 順番取りルール

turn taking system

① 話し手は自分の順番で最後まで話す

② 番の交替;

(a) 今の話し手による次の話し手の選択

(b) 話し手による自己選択

(c) (a) (b) のいずれでもない場合,
現在の話し手は話し続ける権利がある。

(2)ルール違反

①割り込み(interruption) (男>女)

②沈黙(silence) (男>女)

Zimmerman, & West (1975)

West, & Zimmerman (1977)

Fisherman (1978)

江原・山崎・好井(1984)

★ 会話は男性のトピック支配の
権力発動の装置

仮説

仮説1. 会話の非対称は「社会的関係」を
具現化する装置

仮説2. 会話の過程は意識的に制御されている

仮説3. 会話参加者の目標により状況依存的に
制御される

方法

研究1. 男女の会話場面の設定による検証

研究2. 対談番組の分析による検証

研究1

被験者:認知能力の等質な初対面大学生

ペア:性(男・女)×相手(同性・異性)

男同群・男異群・女同群・女異群 各10組

トピック:「入学式」(フォーカス)

「男女の産み分け」(社説)

課題:2人の意見をまとめて結論を出す

意識調査:①性役割志向性尺度(ISRO)

◆理想像「女性とは・・・べき」

②個人的属性質問紙(PAQ)

◆実態「自分はどうか」

③会話意識の調査

◆配慮点・役割

分析:発話のトランスクリプション

理想 どうあるべきか？ 性役割指向性尺度 (ISRO)

役割志向性尺度 (ISRO)

氏名 _____ 性別 男・女 _____ 年齢 歳 _____ 所属 _____

下に示した文章は、社会における女性の役割に対する態度をあらわしています。別にどれが正しく、どれが間違っているというのではなく、いわば単なる見解です。あなたは「A」非常に賛成・「B」やや賛成・「C」どちらでもない・「D」やや反対・「E」非常に反対のうち、自分の気持ちにあてはまると思うものに○印をつけて下さい。

No.	項目	非常に 賛成	やや 賛成	どちら でもない	やや 反対	非常に 反対	記入しない ください	得点
		A	B	C	D	E		
1	女性は家庭の管理にあたるべきであり、国家の管理運営は男性に任せておくべきだ。	A	B	C	D	E		
2	女性がキャリアを求めるならば、大方の女性は子どもを持つべきではない。	A	B	C	D	E		
3	母親が働いていると、就学前の児童には害のおよぶことがある。	A	B	C	D	E		
4	仕事を持つということは、自分自身の人生を生きているということだ。	A	B	C	D	E		
5	子どもを生むことが女性の証である。	A	B	C	D	E		
6	キャリアを求める女性にとって、出産や育児がその障害となることがあってはならない。	A	B	C	D	E		
7	特別なケースを除き、妻が料理や掃除をやり、夫が家族のために金を稼いでくるべきだ。	A	B	C	D	E		
8	女性にも男性と全く等しい雇用の機会が与えられるべきである。	A	B	C	D	E		
9	女性は家において、子どもの世話をしている方がずっと幸福である。	A	B	C	D	E		
10	働く母親でも、働いていない母親と全く同じように、子どもとの間にあたたかな安定した関係を確立することはできる。	A	B	C	D	E		
11	女性は自分のキャリアを考えるよりも、まず育児と家事を自分の仕事であると心得るべきである。	A	B	C	D	E		
12	重要な仕事を数々抱えていても、やはり女性の本来いるべき場所は家庭なのである。	A	B	C	D	E		
13	私は、夫が家庭内の雑用をうけもち、妻が家計をまかなってもいいと思う。	A	B	C	D	E		
14	男でも女でも、同じ仕事に対しては同じ賃金（報酬）が支払われるべきだ。	A	B	C	D	E		
15	私は、妻に働かせて自分は家で子どもの世話をするような男性を尊敬することはできない。	A	B	C	D	E		
16	肉体的な重労働が女性に向かないように、精神的、感情的特質ゆえに女性に向かない仕事もいろいろあるということを、女性自身が自覚すべきである。	A	B	C	D	E		

PAQ質問用紙

この尺度はあなたが自分自身をどんな人間だと思っているか、そのイメージをとらえるためのものです。それぞれの項目は、正反対の特徴を表わしているペアーからできています。たとえば次の例をごらんください。

全く芸術的でない A B C D E 非常に芸術的である。(つまりあなたが、同時に非常に芸術的なのと全く芸術的でないのと両方であることはできないのです。) AからEのうち、あなた自身にあてはまると思う記号のところに○印をつけて下さい。

- | | | | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|---|---|------------------------------|
| 1. 全く積極的でない | A | B | C | D | E | 非常に積極的である |
| 2. 依頼心が非常に強い | A | B | C | D | E | 依頼心がない |
| 3. 全く感情的でない | A | B | C | D | E | 非常に感情的である |
| 4. 非常に従順である | A | B | C | D | E | 非常に支配的である |
| 5. 重大な危機にでも全く興奮しない | A | B | C | D | E | 重大な危機に非常に興奮する |
| 6. 非常に受身である | A | B | C | D | E | 非常に能動的である |
| 7. 献身的になることが全くできない | A | B | C | D | E | おおいに献身的になることができる |
| 8. 非常に荒っぽい | A | B | C | D | E | 非常におとなしい |
| 9. 人のために自分を役立たせることができない | A | B | C | D | E | 人のために自分を役立たせることができる |
| 10. 競争心が全くない | A | B | C | D | E | 非常に競争心がある |
| 11. 非常に家庭志向的である | A | B | C | D | E | 非常に社会志向的である |
| 12. 全く親切でない | A | B | C | D | E | 非常に親切である |
| 13. 自分のやった事を他人に認めてもらうことに無関心である | A | B | C | D | E | 自分のやった事を他人に認めてもらうことを非常に必要とする |
| 14. 全く傷つかない | A | B | C | D | E | 非常に傷つきやすい |
| 15. 全く人の気持ちに心を配らない | A | B | C | D | E | 非常に人の気持ちに心を配る |
| 16. 決断を簡単に下せる | A | B | C | D | E | 決断を下すのに困難を伴う |
| 17. 非常に簡単にあきらめる | A | B | C | D | E | 簡単には決してあきらめない |
| 18. 決して泣かない | A | B | C | D | E | すぐ泣く |
| 19. 全く自信がない | A | B | C | D | E | 非常に自信がある |
| 20. 強い劣等意識を持っている | A | B | C | D | E | 非常に優越感を持っている |
| 21. 他人を全く理解しない | A | B | C | D | E | 他人を非常に理解する |
| 22. 他人との関係において非常に冷たい | A | B | C | D | E | 他人との関係において非常に温かい |
| 23. 安心を得るための何らかの保証をほとんど必要としない | A | B | C | D | E | 安心を得るための何らかの保証を非常に強く必要とする |
| 24. 圧力に屈する | A | B | C | D | E | 圧力によくない |

現実

実態はどうか？

PAQ質問用紙

発話プロトコルの分析

- 会話の過程で生ずる言語・非言語行動の
トランスクリプトを作成し、[番の交替]や
[発話の重なり]、[発話停滞]の秒数等を記入

A: 気持ち悪いですよねー、これ | | うん。 |

B: | ほんと、気持ち悪い。 |

↑ [番の交替] がスムーズ

A: | うん。 ぜったいしたくない。 |

B: | こういう人とは絶対結婚したくないでしょう？

↑ [発話の重なり]

A: (笑い) | いったりして。

B: P (4") でもお見合いにこのぬいぐるみもって (笑い)

↑ P; [発話停滞]・()内は停滞の秒数

分析カテゴリー

説得型:(男>女)

ルール違反:割り込み

同時発話

無視(沈黙)

主張・説得:反論

話題提供

問題提起的質問

前置き

分析カテゴリー

協力型:(女>男)

相手を支持;あいつち
反復
付加疑問

積極的協力;沈黙の修復
発話の促し
援助的質問
援助
情報精緻化

結果

(1) 会話の非対称性:

男性 > 女性: 「沈黙の修復」「情報精緻化」

女同 > 男同: 「割り込み」

男異 > 女異: 「沈黙の修復」

★すべて先行知見と不一致

結 果

- ① 男性の方が会話進行に協力的である
- ② 男性は女性の場合に会話進行に協力的な役割を取る
 - 「沈黙の修復」「発話の促し」
 - 「援助的質問」「情報精緻化」が多くなる
- ③ 女性は相手が女性・男性にかかわらず、リラックスして会話に参加
 - 「ぼかし」カジュアルな表現が多い

結果

(2)ジェンダー意識:

「自信型」

理想像と実態の一致:

- 女性度の低い男性
- 両性具有の女性

「割り込み」「沈黙」少ない

「沈黙の修復」多い

- いつでも自己主張できる
- 会話進行に協力的であり
- 聞き上手になれる。

結果

(3) トピックへの関心:

「男女の産み分け」vs「入学式」

→ 関心度や態度に影響を与えた

- ① 議論展開がスムーズ
- ② ペアそれぞれ対等に貢献
- ③ 論旨と結論の一貫性

「男女の産み分け」>「入学式」

「男女の産み分け」 女同>男女>男同

「入学式」 男同≒女同>男女

研究2

方法:対談番組「徹子の部屋」

対談相手:性(男・女)×年齢(高・低)

各10組のプロトコルを分析

結果:性別では差がない. 発話の差をもたら

した要因は相手の社会的地位(年齢)

目下:「割り込み」「沈黙」多い

→ 発話権の発動 → 会話を引っ張る

目上:「沈黙の修復」多い

「敬語」「丁寧語」も極めて多い

→ 相手との心理的距離を大きく取る

→ 会話進行に協力的で → 聞き上手

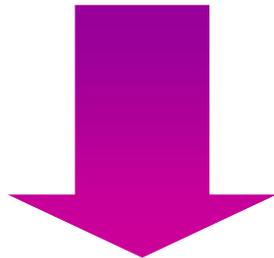
会話のリズムの逸脱

- 対人行動の準拠点
- 自信
- 会話技能の習熟度
- 文脈の共有度や関心

コミュニケーションはリズムの
共有によって成立する

結論

コミュニケーションはリズムの
共有によって成立する



状況依存的なリズムの共有

相手のことばを聞く→聴く

→心の声を受け止め・共感する
相手との関係に配慮・思いやり



To be continued.....